

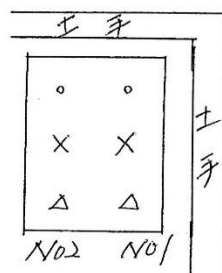
栽培種目：ナス3品種（トゲなし千両・ミズナス・庄屋大長）

ナスの無農薬と連作栽培

氏名：加藤亜紀子（2-I）

〈 要約 〉

ナス3品種を昨年と同じ場所で育てました。本年は、コンパニオンプランツ無しでの無農薬栽培となったが、収穫量は変わらなかった。葉にわずかな病変は現れたが、連作障害とまでは言えない。土壌の状態がよかったということか。



○ トゲなし千両

× ミズナス

△ 庄屋大長

1. 初めに

4月14日、ナス4種、バジル2種、マリーゴールド4種の種を直播きするも、すべて発芽せず。そのため、コンパニオンプランツを利用しないで栽培したらどのようになるか試してみようと考えました。

2. 方法・経過

5月11日に、トゲなし千両、ミズナス、庄屋大長を各2株、畑に移植しました。

根鉢を少し崩し、根を1/4~1/3切って移植する（この方が根の活着がよいとのこと）。生ゴミを投入しているので同じナス科のピーマンが生えてきたが、そのままにする。

7月9日、トゲなし千両 No2 の葉が黄変し、穴あきも出てきて、他にも広がる。7月



2019年7月19日 トゲなし千両 No2

20日、ヌカ+マスコバト糖を撒き、木酢液をかける。8月2日、葉は回復傾向。9月1日、葉に白カビ様の病変が出るが、木は元気で実もよく着いているので、対処せずそのまま様子を見る。



2019年8月15日 今年はナスとピーマンのみ

3. 結果

収穫結果

		2017	2018		2019	
トゲなし千両	No1	30	36		27	
	No2	17	35		28	
ミズナス	No1	17	20		28	▲1
	No2	11	46		41	
庄屋大長	No1	31	33	▲2	38	▲2
	No2	26	28	▲1	47	▲2
合計		132	198	▲3	209	▲5

▲ 台風被害と実割れ (1)

収穫期間 2017年 6/20~9/14

2018年 7/2~9/29

2019年 6/22~9/30

施肥回数

	2017	2018	2019
ヌカ+マ			1
牛乳+マ	1		3
ヨーグルト+マ	1	6	7
酒粕+マ			2
牛乳+ヨーグルト+マ	6		
ヌカ+コーラル+マ	6		
生ゴミ			4
生ゴミ+ヌカ+コーラル+マ	3		
ミカンの皮+ヌカ+コーラル+マ	3		
生ゴミ+ヌカ+コーラル+草+ヨーグルト+マ			3
生ゴミ+ヌカ+コーラル+草+酒粕+マ			1
木(竹)酢液	7	2	2
生ゴミ+ヌカ+コーラル+草+マ		7	1
ヌカ+コーラル+草+マ		2	7
ミネラル液肥		6	
クエン酸		1	3
Mgの粒		1	
計	27	25	34

マ：マスコバト糖 草：草木灰

ヨーグルト・酒粕などの発酵食品の投入が増えている。

4. 考察

- (1) コンパニオンプランツ無しでも害虫被害1件。収穫量も同じように採れているので、土の状態は引き続きよい。
- (2) 葉の病変は出ているが、栄養バランスが今一つなのか？

5. まとめ

今年も天候不順だったが、土の状態は良いようで、ナスだけでも収穫量は落ち込まなかった。害虫被害もほとんどない。ただ相変わらず葉に病変が発生するが、それでも木は枯れず収穫できている。課題としては、なぜ病変が発生するか？ということになります。

〈参考〉 昨年(2018年)の状況



2018年6月29日 庄屋大長 No.1 (奥) と No.2 (手前) の葉の状態



2018年7月16日 マリーゴールド (タイザンミックス F1 バニラ) がよく咲いた。



右側のトゲなし千両 No1 の葉が枯れている。